

科目番号	54011	分類	専門科目 基礎公衆衛生看護学	履修者	高度実践公衆衛生看護コース	学年	1		
科目名	学校保健学 (Lecture in School Health)						1		
							配当セメスター		
							後期		
担当者	○明石眞言 他1名			区分	必修	単位	1	時間数	15
授業の概要および目標							学位授与の方針との関連		
【概要・目標】 学校は教育の場であると同時に生活の場である。学校において、児童生徒等の健康の保持増進を図り、集団教育としての学校教育活動に必要な健康や安全への配慮を行うことが求められる。学校保健の意義・目的・構造を理解し、児童生徒の心身の健康課題を踏まえながら、学校保健活動の実際を理解する。							○	1.多様な課題に対応する高度な実践力	
								2.地域住民の自立を支える統合的支援能力	
								3.地域の健康課題を科学的にアセスメント・分析する能力	
							○	4.政策や保健事業を開発する能力	
								5.災害対応や新興・再興感染症への危機管理能力	
								6.公衆衛生看護・公衆衛生行政に繋がる研究能力	
授 業 計 画									
回	内 容								担当教員
第1回	我が国における学校保健の変遷と仕組み 学校保健行政の構造：教育基本法、学校保健安全法、学校給食法								明石 他1名
第2回	学校保健計画、学校健康診断 環境衛生検査、学校保健委員会 慢性疾患の児童生徒の保健管理								
第3回	学校における医療的ケア 学校に勤務する看護師の役割 子どもの発達段階ごとの特徴 学校における保健指導								
第4回	感染症予防：学校において予防すべき感染症 こどもに関する法律 児童相談所、児童虐待								
第5回	学校における性に関する指導 性感染症（STD）とエイズ・ピア・エドゥケーター								
第6回	第3次学校安全の推進に関する計画 いじめ、暴力行為 子どもの心のケア、心の外傷								
第7回	不登校 危機発生時の対応 関係機関等との連携								
第8回	危機状況におけるトラウマ 子どもの育ちの現状と背景 “優生保護法”								
事前・事後学習	事前学習：事前に教科書の該当箇所を熟読の上講義にのぞむこと。 事後学習：配布資料を復習すること。								
評価の方法	授業での Discussion 及びレポートから総合的に評価する。主体的に自分で考えることができ、その考えを述べることを求める。								
参考図書・資料等	◎荒木田美香子他 編集 公衆衛生看護活動Ⅱ 医歯薬出版株式会社								
備考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。								